

■必然の奇跡■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 398 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてはほぼ毎週お届けしています。

ご意見、ご質問大歓迎です。

オンラインの議論をご希望の方は、気軽に返信ください。

.....

398 目次

1. トピックス：松村主催の忘年会
2. ブログより：必然の奇跡
3. 今週のお誘い+今後の予定
4. 地主の学校・販売中
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

.....

1. トピックス：松村主催の忘年会

12月12日(月)、忘年会ありきの企画です。

「地主の学校読解ゼミ」のメンバーと忘年会をやるので、せっかくだから皆さんもお誘いし、時間のある方は「特別講座」を受講していただこうと考えました。

.

当日のスケジュール

第1部 17時～20時

17:00：受付開始

17:30：地主の学校・特別講座

18:30：質疑応答、自由討議

19:30：笑恵館・説明見学会

20:00：終了（⇒移動）

第2部

20:00：忘年会（会場、終了時間未定⇒参加者の皆さんと相談）

.

参加費

1.第1部だけの方 受講料 3,000円

2.第2部に参加の方 受講料免除・忘年会費用割り勘で

お問い合わせ、申し込みはFBイベントの参加ボタンとコメントで。

<https://www.facebook.com/events/469550535287983>

もちろん、このメールに返信でもOKです。

.....

## 2. ブログより：必然の奇跡

僕はスポーツ観戦が苦手だ。

特に、片時も目を離せない手に汗握る緊張感に、長時間付き合いたいとは思わない。

もちろん、それが家族や友人が登場するゲームなら話は別だが、感情移入もせずに他人の一挙手一投足に僕が一喜一憂するのは難しい。

もちろんこれは、僕の言い訳だ。

サッカーワールドカップの日本ドイツ戦のみならず、日本スペイン戦も見もせずに、直後の報道を見ただけで痛く感動する自分に驚いている。

なぜ僕は、当事者でないことはもちろんのこと、実況中継を見る追体験すらせずに涙が出るほど感動するのはなぜなのか。

・

初めに僕の頭をよぎったのは、やっかみに近い強いあこがれや嫉妬に似た感情だ。

選手たちの充実した表情に加え、これを称えるすべての人たちの幸福そうな笑顔を見て、僕は悔しいくらい羨ましく思った。

「勇気をもたらした」とか、「感動をありがとう」という言葉が、この状況を言い当てているとは思えないが、確かに何かをもたらした気がするし、それに対する感謝やねぎらいに嘘はない。

だとすれば、途方もない大勢に対し、膨大な何かを与えたことは間違いない。

それは、僕自身の中に沸き起こる感情の重さから容易に想像できる。

そして、日が経つにつれ、その感動はますます膨らんでいく。

様々なメディアを介して、新たなコメントやエピソードが伝わってくるからだ。

こんな大事件を放置できない。

この感動を分析したい。

・

と、思ったけれど、そのプロセスをここに書くのはやめる。

ここでは結論をまず書いて、少し説明を加えるだけにしよう。

この感動の核心は、「奇跡と必然」だと思う。

ドイツ、コスタリカ、そしてスペインと対戦した予選リーグのプロセスは、世界中の大多数の予想を覆す「奇跡」に違いない。

だが、その「奇跡」は決して偶然ではないのだから、それを「必然」と呼ぼうという思いが、瞬く間に世界で共有された、、、と僕は見る。

兼ねてから僕は、「起業」を「まぐれでなく実現」だと説いてきた。

願ってもいないのにたまたま現実化する「まぐれ」に対し、あらかじめ願ったことを叶える（現実化）ことを「実現」と呼ぶべきだと。

ここで言う「偶然と必然」の意味は、まさに「まぐれと実現」と同義語だ。

つまり、今回の出来事を通じて「僕の持論を目の当たりにした衝撃」こそが、僕の感動だと確信した。

・

さて、ここからが今日の本題だ。

今回の事件を、僕はあえて「必然の奇跡」と名付けたい。

最後まで粘り強く、諦めなかったから、そして勝利を信じて臨んだからこそ、誰も予想しなかった「強豪 2 国

に対する逆転勝ちによる予選リーグの1位突破」が実現した。

この結果は、奇跡には違いないが、決して偶然ではなく必然の結果だと、選手・監督はもちろんのこと、日本中いや世界中から聞こえてくる。

つまり、「必然の奇跡」は間違っていないどころか、これほどまでに世界を幸福にする力を持つ。

だとすれば、僕らはもっと奇跡を起こそう。

決して簡単ではないが、だからこそやるべきだ。

こうなったら、決勝リーグでもさらに勝ち進んで欲しいし、もっとでかい声で「ブラボー！」と叫んで欲しい。そしてその先には「戦争なんかやってんじゃねえ！」とか、「みんなの自由を奪うんじゃねえ！」と叫び、願い、勝ち取りたい。

・

以上、サッカー日本代表のお手柄を自分ごとのように思う僕でした。

でも実は、誰もがそう感じてるんじゃねえの??

<https://nanoni.co.jp/20221204/>

.....

### 3. 今週+今後の予定（下記以外はすべて空いてます）

【凡例】◎：申込不要、○：申込必要、×：一般参加不可

#### ■今週の予定

(火) 12/06 なのに（高知）出張日

(水) 12/07 なのに（高知）出張日

面談×：18-19時 RYさん+TTさん（横浜）

(木) 12/08 なのに（世田谷）作業日

会議×：10-12時 かなこ PJT (zoom)

会議×：13-14時 さくま PJT (笑恵館)

会議◎：17-19時 笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)

会議×：20-22時 OforW 経営運営会議 (zoom)

(金) 12/09 なのに（世田谷）作業日

(土) 12/10 なのに（世田谷）作業日

交流◎：09-17時 よろず相談会 (笑恵館)

会議×：12-14時 RYUSEN PJT (zoom)

(日) 12/11 いづみ（横浜）作業日

交流◎：09-17時 いづみ PJT オープンデイ (反町)

交流◎：12-14時 いづみ PJT 説明会 (反町)

交流◎：19-21時 AR忘年会 (品川)

(月) 12/12 なのに（世田谷）作業日

交流◎：17-22時 地主の学校忘年会 (笑恵館)

#### ■定例の予定

月曜・第2,4 22-23時 ○八島花文化財団準備室 MTG (zoom)

- 火曜・第2 18-20時 ○LR 定例営会議 (zoom)
- 第4 20-21時 ○LR 定例営会議 (zoom)
- 水曜・第4 10-12時 ○OforW 経営運営会議 (zoom)
- 木曜・第2 15-16時 ×かなこ PJT (zoom)
- 17-19時 ◎笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)
- 第3 13-18時 ◎笑恵館なるほどデイ (笑恵館)
- 18-20時 ○笑恵館完全持ち寄り食事会 (笑恵館)
- 20-21時 ×AR 子ども書籍 MTG (zoom)
- 第4 17-19時 ◎笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)
- 20-21時 ○一宮庵クラブ運営会議 (成城)
- 金曜・第4 08-09時 ○地主の学校ゼミ (zoom)
- 土曜・毎週 09-17時 ◎よろず相談会 (笑恵館)
- 第2 12-14時 ×RYUSEN PJT (zoom)
- 日曜・毎週 09-17時 ◎いづみ PJT オープンデイ、説明会 (反町)
- 第1 10-11時 ×100smile 会議 (zoom)
- 第4 10-14時 ○名栗の森オーナーシップクラブ月例会 (飯能)

■今後の予定

- 12/15-17 出張× キロロリゾートオープニング (北海道)
- 12/18 交流○：19-21時 八島花文化財団お披露目会 (京島)
- 12/19 相談×：16-17時 S区 Yさん (笑恵館)
- 12/28 交流×：18-20時 笑恵館・忘年会 (笑恵館)
- 12/29 交流○：19-21時 いづみ・忘年会 (反町)

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

4. 地主の学校・販売中

拙著【地主の学校】はこちら

<https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp>

セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

.....

5. アクセスポイント

松村拓也

メール [takuya@nanoni.co.jp](mailto:takuya@nanoni.co.jp)

携帯 090-9830-3669

自宅：

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19 笑恵館

<http://shokeikan.com/>

主な所属団体：

株式会社なのに（取締役・平社員）

<http://nanoni.co.jp/>

一般社団法人日本土地資源協会（代表理事）

<http://land-resource.org/>

特手非営利活動法人 HOME-FOR-ALL（事務局長）

<http://www.home-for-all.org/>

一般社団法人地域社会圏研究所（事務局長）

<https://localrepublic.jp/>

.....

## 6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事の抜粋などの情報をほぼ毎週お届けします。  
参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>